

# アマ無線で災害時の連絡網確保 富士

阪神淡路大震災を教訓に富士市内にアマチュア無線家のボランティア組織「アマチュア無線非常通信協力会」が組織されることになり、七日夜、市役所で設立準備会が開かれた。今月中に二回目の打ち合わせ会を予定し、会員募集を行った後、十月末にも正式に発足する。

## 10月にも「協力会」



### 準備会に愛好家ら20人

アマチュア無線は、有線  
の連絡網が寸断された阪神  
淡路大震災で被災者の救助  
や救助物資の連絡などに大  
活躍した。この経験を踏ま  
え、県、県の防災計画にア  
マチュア無線の活用項目が  
入れられ、富士市でも今年  
五月に了承された地域防災  
計画東海地震対策編改訂版  
に明記されたところから、同  
市が市内のアマチュア無線  
家と呼び掛け、組織化の準  
備を進めてきた。

設立準備会には、市内の  
事業所、個人でアマチュア  
無線を楽しむ約二十人が  
出席した。協力会の規約  
を決めた後、初代会長に高  
沢勝彦氏を選び、会員の  
募集や設立日時などにつ  
いて話し合った。あいさ

つに立った望月史之総務  
部長は「行政の無線だけで  
は限度がある。ぜひ皆さんの  
ボランティアとしての力を  
借りたい」と協力を求め  
た。

設立準備会は今後、アマ  
チュア無線を趣味とする市  
民に幅広く協力会への参加  
を呼び掛けていく。また次  
の打ち合わせ会で、結成前  
の行動として九月一日の総  
合防災訓練にどのように協  
力できるか話し合うことを  
決めた。参加問い合わせは  
市役所防災対策課（電）5  
1-0123、内線277  
5、2778）へ。

非常通信協力会の組織化に向けて話し合ったアマ  
無線家―富士市役所